

## 静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO 2015-16 顔面神経麻痺と初診時血液検査所見の関連に関する検討
当院の実施責任者研究及び職名	耳鼻科 副部長 川崎 泰士
他の研究機関および各施設の研究責任者	東京医療センター 南修司郎、若林毅 済生会宇都宮病院 新田清一、石川徹
研究期間（西暦）	2010年1月1日から2014年12月31日まで
研究の目的	顔面神経麻痺は単純ヘルペスウイルスおよび帯状疱疹ウイルスの再活性化により発症し予後判定に柳原法やENoGを用いるが発症一週間以後に判断するものである。2013年に Bucak らは血液データで麻痺の予後との相関性を報告した。当院を中心とした多施設共同後ろ向き臨床研究で症例数を増やして検討を行う。
研究の内容	顔面神経麻痺の治療前に採取した血液検査データ、臨床検査データ（年齢、性別、罹患側、糖尿病の有無、アブミ骨筋反射の有無、ENoG検査結果、治癒の有無、治療までの日数）と麻痺の予後の相関性を検討する。
個人情報の取扱い	試料の匿名化：有り（東京医療センター、済生会宇都宮病院、静岡赤十字病院） 連結表管理：東京医療センター 和佐野浩一郎
問い合わせ先 （拒否等受付窓口）	<b>【研究担当者】</b> 所属：静岡赤十字病院 耳鼻科 氏名：耳鼻科副部長 川崎 泰士 住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2 電話：054-254-4311